

フランコの「いちばん」

動物園では、21羽のフランコを飼育しています。飼育数が多いので、個体を区別することは難しいんですが、きちんと区別し、行動などを記録することは、病気やけがの治療をする際や、繁殖させるためにはとても重要です。

私は見た目や普段の様子から特徴をつかむようにしています。例えば、餌を1番に食べに来る「いちばんちゃん」は警戒心が薄いのか、餌を準備している最中に目の前に来たりします。1羽だけ群れから少し離れていたり、よく見たら黒目がかけたりという特徴もあります。

他にもけがで治療をしたフランコには、脚に印をつけたりしています。動物園に遊びに来たら探してみてくださいね。

なぜかとい

(フランコ担当 松本妃華)

飼育員曰誌

須坂市動物園

餌やりのとき 真っ先に



うと、他のフランコは飼育員を警戒して離れてしまうのに、「いちばんちゃん」は警戒心が薄いのか、餌を準備している最中に目の前に来たりします。1羽だけ群れから少し離れていたり、よく見たら黒目がかけたりという特徴もあります。

他にもけがで治療をしたフランコには、脚に印をつけたりしています。動物園に遊びに来たら探してみてくださいね。